

第 20 回 全国大会・研究発表大会 優秀ポスター賞 受賞記

青山学院大学 社会情報学部 板倉百茄

この度は優秀ポスター賞にご選出いただきましたこと、大変光栄に存じます。審査員のみなさまをはじめ、第 20 回全国大会・研究発表大会関係者のみなさま、情報システム学会関係者のみなさまに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今回発表させていただきました「生成 AI の利用は学生の数学理解を高めるのか」は、生成 AI を課題消化の手段ではなく、学習者の理解促進を目的とした補助ツールとして活用する方法を考察することを目的として行いました。そして今回は、Chat GPT-4o で作成ができる GPTs を用いて、数学の 1 単元を学習したときの理解度と、従来の授業スタイルで学習したときの理解度をテストで比較する実験を行いました。実験の結果、GPTs で学習したときのほうがテストの点数が高い傾向にあり、問題演習の時間の確保が点数が一因ではないかと考察しました。

発表を通じて、ご参加いただいた皆様から本研究についてのご意見やご指摘をいた

だき、心より感謝申し上げます。皆様の貴重なご意見を参考に改善を進め、今後も一層研先に尽力してまいります。

末筆ながら、本研究にあたりご指導いただきました宮川裕之教授、居駒幹夫教授、北村太一さん、快く実験に参加して下さったみなさま、支えて下さった関係者のみなさまに感謝申し上げます。